Django 管理画面逆引き メモ

Python Django

この記事は最終更新日から1年以上が経過しています。

リスト画面 (Change List View)

表示させる項目を指定

```
ModelAdmin.list_display = ('hoge',)
```

Boolを返すModelのカスタムメソッドは直接指定可能。

```
ついでに __unicode__ or __str__ も指定できるよ。
```

```
ModelAdmin.list_display = ('__str__', 'model_custom_method')
```

詳細画面へのリンクを貼る項目を指定

デフォルトでは一番左側に表示される奴にリンクが付く

```
ModelAdmin.list_display = ('hoge', 'fuga')
ModelAdmin.list_display_links = ('fuga',)
```

カスタムした値を表示

```
ModelAdmin.list_display = ('custom_hoge',)

def custom_hoge(self, obj):
    return u'Hoge'
custom_hoge.short_description = u'表示名'
custom_hoge.allow_tags = True # htmlタグ許可
```

ユーザー入力の場合は format_html('hoge') 関数をつかってエスケープしておくとよい。

デフォルトのソート順

カスタムアクション (リストビュー上部のセレクト部分のやつ)

ModelAdmin.actions = ['hoge'] # 定義した関数などをリストアップ ModelAdmin.actions_on_top = True # ページ上部に表示 ModelAdmin.actions_on_bottom = True # ページ下部に表示

カスタムフィールドのソート

Django のソートは全て DB のクエリレベルで行うので、実際にDBにカラムが存在しないフィールドはソートできない。 ただ、カスタムフィールドが、あるフィールドの代理になっているときは、そのフィールド名を指定するとソートできる。

```
ModelAdmin.list_display = ('number_str',)
```

```
# number が数字(int)を返すとする

def number_str(self, obj):
    return str(obj.number)

number_str.admin_order_field = 'number'
```

list_display でDBにカラムのないカスタムフィールドをソート可能にする方法

StackOverflow Django admin: how to sort by one of the custo m list_display fields that has no database field

追加・変更画面

特定のフィールドを更新の対象にしたい

2つの指定方法がある

fields

- 1. fields は ModelAdmin.readonly_fields の値も指定できるが、編集はできない
- 2. list_display などと違い、Modelの field か ModelAdmin.form しか指定できない

```
ModelAdmin.fields = ('hoge', 'fuga') # hoge, fuga フィールドの る ModelAdmin.fields = (('hoge', 'fuga'), 'piyo') # hoge, fuga カ
```

exclude

```
ModelAdmin.exclude = ('hoge',) # hoge は編集対象とならない
```

外部キーの値も、同じ画面で追加/編集できるようにする

```
# Inline モデルを定義

class SomeForeignKeyModelInline(admin.TabularInline):

model = SomeForeignKeyModel
```

Inline モデルを表示させたいモデルの管理画面に追加 class HogeAdmin(admin.ModelAdmin): list_display = ('hoge', 'fuga') inlines = [SomeForeignKeyModelInline]

fieldsets オプションでリッチな画面

カスタムフォーム

デフォルトでは ModelForm がよしなに管理画面用のフォームを生成するが、自分でカスタムしたフォームも指定可能

モデルに定義されていないカスタムのフォームフィールドを管理画面に表示させたい

stackOverflow: django admin - add custom form fields that are not part of the model

既存の自動生成されるフォームをカスタマイズした い

get_form メソッドでフックする

ModelAdmin.get_form(request, obj=None, **kwargs)

管理画面テンプレートの上書き

設定

管理画面の元テンプレート

は contrib/admin/template/admin に格納されている。

上書きする場合は、 $TEMPLATE_DIR$ で設定されているディレクトリに admin/ を追加する。

上書きしたい管理対象を、上記ディレクトリ配下 に、 app_name/modelname/ で追加する。

アプリ名以下のテンプレートはアプリ配下の全てのモデルに 適応される。

モデル名以下のテンプレートは、そのモデルの管理画面のみ 適応される。

ディレクトリ名は全て小文字。

テンプレート作成方針

基本的に必要な部分だけを上書きするほうが効率的。

例:

hoge アプリの fuga モデルの一覧画面を上書きしたいときは admin/hoge/fuga/change_list.html を作成。

あとは以下のように変更したい {% block %} 上書きしてい く。

```
{% extend 'admin/change_list.html' %}
{% block 'content' %}
<!--
なにか追加したいフォームや変数など
-->
{{ block.super }}
{% endblock 'content' %}
```

独自機能追加

管理画面に独自機能を追加したい場合、必要になりそうな作業のメモ

URL の追加

独自機能を提供するURLを追加する。

Django管理画面がデフォルトで生成するURLをカスタマイズ する必要がある。

```
get_urls を使う.
```

```
from django.conf.urls import url
from django.http import HttpResponse

class HogeAdmin(admin.ModelAdmin):
    def get_urls(self):
        urls = super(HogeAdmin, self).get_urls()
        my_urls = [
            url(r'^hoge/$', self.admin_site.admin_view(self.hoge)]
        return my_urls + urls

def hoge(self, request):
        return HttpResponse('OK')
```

 $self.admin_site.admin_view$ は追加したいビューに、パーミッションのチェックと $never_cache$ を付与するもの。 基本的には、これでラップしておくほうが良い。

return my_url + urls の順番に注意。 my_urls を先にしないと、管理画面標準の URL が優先されて 独自定義した URL のビューまで辿りつけない。

既存管理画面の動作を上書きする

各 View関数の動作をオーバーライドすればよい

```
class HogeAdmin(admin.ModelAdmin):

# 一覧画面の動作を上書きする例

def changelist_view(self, request, extra_context=None):

extra_context = extra_context or {}

extra_context['hoge'] = 'hoge'

return super(HogeAdmin, self).changelist_view(request,
```

その他

同一の Model を複数の ModelAdmin で管 理する

StackOverflow Multiple ModelAdmins/views for same model in Django admin